

様式 4

平成 3 1 (令和元) 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取商業高等学校
 学校長 岩田 直樹

評 価 日	令和 2 年 1 月 3 1 日 (金)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの項目も概ね達成できている。 ・生徒が規律を守り、学校が落ち着いていることは地域にもよい影響をもたらしていると感じる。 ・鳥商デパートでの生徒の姿は評価できる。また、鳥商デパートでの PayPay の導入は社会の動向をとらえた試みであり面白い。 ・特別支援教育の観点から多様な生徒への対応をされている。小学校では、以前は支援が必要な場合は発達障害のケースが多かったが、現在は愛着障害が増える傾向にある。そのような状況を踏まえて、今後も生徒の支援に当たっていただきたい。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥商出身者が地元企業を支えている。今後も地元企業とのつながりを大切にしながら、積極的に新しいことに挑戦する人材を育ててほしい。 ・学校案内に示されているように、鳥商教育の集大成としての鳥商デパートの位置付けを生徒に自覚させ、生徒を伸ばしていただきたい。 ・類型選択、進路選択について、生徒・保護者の相談にもっと時間をかけていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標の達成度を上げるよう引き続き取り組んでいく。 ・落ち着いた学校生活が地域の信頼を高めるだけでなく自分の進路実現にも必要。生徒にもそのことを強く意識させたい。 ・生徒の規律については、引き続き指導するとともに、生徒が自律的に行動できるように指導していく。 <p>・来年度も適切に運用していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥商デパートについては、生徒減やふるさとキャリア教育の視点を意識しつつ変わらないものと新しいものをバランスよく追求していく。 ・1年生の早い段階から意識を高めるよう情報を提供し面談指導の充実を図る。 	